

## 平成18年度 上三川町予算の概要

平成18年度は、新たに策定した「上三川町第6次総合計画」のスタートの年度です。町の将来像「より安心・安全で活力のあるまち 上三川」の実現を目指し、将来を見据えた施策を着実に推進するべく、平成18年度の予算を編成しました。

歳入面では、町税を中心とする自主財源の確保に努めるとともに、国県支出金の導入や計画的な起債により、依存財源の確保を図ることとしました。

また、歳出面では、引き続き経常経費の削減に努め、財源の重点的かつ効率的な配分に留意しました。

このような方針に基づき編成した一般会計予算は、103億7,000万円で、前年度当初予算に比較して14億1,000万円、15.7%の増となりました。なお、町税は前年度比3.7%増の58億7,105万2千円、地方譲与税は前年度比37.7%増の4億2,980万円、地方交付税は前年度比6.0%減の7,520万円、国県支出金は前年度比15.0%減の8億8,963万8千円を見込み、目的基金の活用と財源調整のため、財政調整基金等から総額7億5,794万2千円を繰り入れ、(仮称)総合保健福祉センター建設事業等の事業費に充当する起債等を13億7,260万円としました。

各特別会計予算は、まず、国民健康保険事業予算は24億8,900万円、前年度比5.4%増、老人保健事業予算17億2,400万円、前年度比2.0%減、介護保険事業予算12億400万円、前年度比6.6%増、公共下水道事業予算11億6,100万円、前年度比0.9%減、農業集落排水事業予算5億8,200万円、前年度比38.6%の増、用地先行取得事業予算7億7,165万4千円、前年度比471.6%の増となりました。

以上、一般会計と特別会計を合計した予算総額は183億165万4千円となり、前年度当初予算に比較して23億6,130万3千円、14.8%の増となりました。

次に、水道事業予算は、収益的収支は、収入5億2,990万7千円、支出4億7,900万5千円、資本的収支は、収入4億1,399万9千円、支出6億454万9千円となりました。

平成18年度の主な事業は次のとおりです。

- (1) 中心拠点施設整備事業 108,234千円  
(整備事業等)
- (2) (仮称)総合保健福祉センター建設事業 1,286,473千円  
(本体建設事業、特別会計用地買戻等)
- (3) 保健福祉対策事業 748,033千円  
(障害者福祉サービス事業、予防接種、各種検診、医療費助成等)
- (4) 上水道事業 119,829千円  
(第6次拡張計画)
- (5) 下水道事業 577,445千円  
(公共下水、特定環境)
- (6) 農業振興事業 25,757千円  
(首都圏パワーアップ推進事業、園芸産地対策、土地利用型経営体育成事業、新農業水利システム保全対策事業)
- (7) 農業集落排水整備事業 477,402千円  
(東部地区・南部地区等)
- (8) 道路整備事業 428,020千円  
(道路改良・道路維持・交通安全施設等)
- (9) 市街地整備事業 284,465千円  
(富士山・願成寺地区等)
- (10) 学校施設整備事業 250,139千円  
(小・中学校施設整備)